

ぴたらファーム 通信

●畑の状況

畑の隅には、こぼれ種から自然に生えてきた向日葵が元気に咲いています。気づけば、とうもろこしやトマトは私の背丈を超えました。採れ始めたばかりのオクラもすぐに私の背丈を越すでしょう。今週は土寄せという作業が頻繁にありました。大豆にサトイモにねぎに小豆。作物の株きわの土を寄せて盛り上げる作業ですが、その目的は作物によって様々。ねぎは白く軟化する部分を多くする目的、サトイモは小芋を増やす目的、そして、マメ科の大豆や小豆は土寄せをすることで、根張りをよくし倒れることを防ぎ、さらに根に住む根粒菌の活動を活発にします。この根粒菌は、植物の根っこにコブ状になる菌で、根に勝手に住み着くん



ですが、空気中の窒素を植物が吸収できる形の窒素に変え宿主に供給してくれます。根っこを住まいとして借りる代わりに、窒素を家賃として払っているような、持ちつ持たれずの共生関係なんです。そんなマメ科は花が綺麗な種類が多いんですよ。今畑では、こんな2種のマメ科の花が見られます。粒が大きくて甘く煮て食べるとおいしい花豆 → ←もうひとつは、藤の花の房に少し似たピンク系の濃淡が可愛いアピオスの花。別名「ほど芋」といい、インディアンがよく食べていたという薬効性のある芋です。昨年うまく育たなかったものを1年越しさせました。今年はお届けできたらいいなあと思っています。



by 彩華（畑・こかぶ担当）

●ぴたらぶ田んぼ

ぴたらで一番小さな田んぼでは、昨年到现在もち米を作っています。僕の大大チョンボで昨年の種もみを全て粃すりをしてしまい、今年は近所の有機農家から苗を分けて頂きました。満月という晩生の品種です。もち米にもいろいろな種類があるんですね。植えつけた時にはひょろひょろとして頼りなげに見えた苗も元気に分けつを繰り返して株を大きくしています。今年もたくさん餅つきをすることになるのでしょうか。どうせなら満月の夜にウサギをよんでみるのもいいかもですね♪ by 泰斗

●ファームの様子

ぴたらファームでは 7/21(土)-22(日)にコンポストトイレ作りのイベントを行ないました。

生憎の空模様の中、雨でびしょびしょに濡れながらもゲストの方々と楽しく時を過ごしました。シリーズ物の企画の第4回目となる今回は、土壁を塗る為の下地となる竹小舞を編む作業をしました。竹小舞に使用した竹はぴたら邸の裏庭に自生している物です。その竹を細く割り、格子状にシュロ縄を使って編み込んで行きます。編み込まれた壁の下地はまるで昔ながらの日本の古民家のように。

そんな日本の伝統技術を織り込んだ環境に配慮したエコトイレ。果たしてどんなトイレが出来上がるのか。完成がとても楽しみです(^ ^)

コンポストトイレ作りイベントは今後も続きます。興味のある方は是非ご参加下さいね。 by 真吾（畑担当）

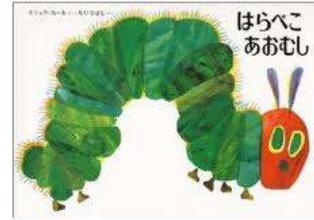


コンポストトイレ前での集合写真

🌱 <コラム:東京発スローライフ⑩> はらぺこあおむし

このコラムは東京でファームの運営を担当している大樹が書いています。

9か月となった娘が好きな絵本の一つに「はらぺこあおむし」があります。あおむしが卵から生まれて、いろいろなものを食べて蝶になるというストーリーですが、蝶になるシーンが、カラフルに伸びやかに描かれていて、そこを開く度に、娘はにこにここと笑ってこちらを見上げます。



絵本の中ならば、かわいらしいけれど、本物のあおむしはちょっと・・・という方も多いと思います。(ルソーによれば、それも育ち方によるもので、小さいときから田舎で虫なんかに囲まれて育てば、怖くならないとのこと。)

有機農業(無農薬)で野菜を育てていると、少くらしい虫に食われる野菜のほうが普通だということに気がきます。自然界では、虫がまったくない野菜などありえません。スーパーで売っている慣行農法(農薬、化学肥料使用)の野菜の姿の美しさが、実は異常だということに気がきます。僕は農薬や化学肥料が人口の爆発的増加を支えてきたことを否定はしませんが、時代は変わったと思います。虫も雑草も生えないような薬漬けの畑で育っている野菜を食べていて、僕らの身体は大丈夫なんでしょうか?あるいは、環境は大丈夫なんでしょうか?実際のところ、土地に負荷をかける農業によって、土や生態系の豊かさが失われ、人々の暮らしが荒廃した地域が世界にはあります。

一方で、有機農業では、必ず、虫がたくさんつくわけではありません。自然界のバランスを崩すような野菜が現れた場合、つまりは病害にやられていたり、窒素量(=肥料)が多すぎて栄養過多になっていたり、季節に合わずに作物自体が弱体した場合に、特に虫がつくのです。虫は、そうした野菜を食べることで、全体の調和をとっています。

ぴたらファームでは、土壌を科学的に分析して肥料の量を最小限にしたり、防虫効果の高いハーブと野菜と一緒に植えたり、虫のつきやすい野菜に寒冷紗(薄布)をかけるなど努力していますが、それでも虫がつくことがあります。野菜セットに虫がいて、食べるのを躊躇したという場合は、遠慮なくご連絡ください。ちなみに、はらぺこあおむしが可愛いというのは都会の見方であり、ファームでは、スタッフの指先で即摘み出されます。(運営担当/大樹)

<<ファームからのお知らせ>>

●野菜セット次回のお届けについて 隔週の方⇒8月11日(土)、毎月(第4週)の方⇒8月25日(土)

●野菜セットの代金お支払い方法について

- ・定期(毎週 or 隔週 or 毎月)⇒月末にE-mailでご請求いたします。
- ・お試し1回注文 ⇒野菜セットのボックスに請求書を同封します。

●ファームのお米とお味噌が送られてくる!ぴたらぶ会員(会費1万円/年)募集中!

●ファームのスケジュール 7/29 青山ファーマーズマーケット出店、
8/11-19 オープンファーム(ピザづくり等) ※詳細はHPにて

●野菜の品質について

ぴたらファームでは、収穫・送付時にチェックを行って野菜を万全の状態でお届けしています。しかし、無農薬栽培のため、虫の混入や運送時の温度条件等により野菜に傷み等が出てくる可能性もあります。もし、そうした野菜がございましたら、どうぞ、遠慮なくご連絡ください。次回の送付時に代替りの野菜をお送りします。また、野菜セット全体にご不満のある場合には、代金はいただきませんのでご連絡ください。

ぴたらファーム 

～自然循環型のオーガニック・ファーム～

〒408-0313 山梨県北杜市白州町横手 1118



たさいたいと あおきさいか くりやしんご なかの かもりまさみ たさいたいじゅ たさいさとこ
田才泰斗、青木彩華、栗谷真吾、中野ちはる、川森昌美(畑担当) 田才大樹、田才暁子(運営担当)

TEL: 090-2055-3424、0551-35-2793 FAX: 03-4578-1768 pitarafarm@gmail.com http://pitarafarm.com